

1、日次、場所

- ・平成26年11月1日〈土〉10:00～14:00

於：総合教育科学系研究棟第3号館（602号室、501号室）

2、内容

- ・第1部 総会 於 602号室 10:00～10:30
- ・第2部 講演会 於 602号室 10:40～11:40
講演者 金丸 洋子氏「古くて新しい街『金沢』に生かされて」
- ・第3部 懇親会 於 501号室 12:00～14:00
昼食と懇談（懇談の時間を十分に取る）
参加者全員で共有できるお楽しみ会（20分）

3、会費

- ・卒業生 2000円 学生 500円

4、申し込み方法

- ・FAXのみの申し込み

講演会レジメ

古くて新しい街「金沢」に生かされて

講演者 金丸 洋子氏

（44年度卒 北陸学院大学人間総合学部幼児児童教育学科教授）

1 はじめに

- ・幼児児童教育から高齢者の生涯学習まで経験させていただいた45年間
- ・ライスワークからライフワークへ
- ・教師として母として妻として、迷走しながら走り続けてきた私

2 男女共同参画社会をむかえて

- ・世間では
「一番進んでいるのが教員の世界ですよ。」
「女性の頭の上には、自分で作ったガラスの天井があるのよ。」
「肉体的苦勞をとるか精神的苦勞をとるかよ。」
「男だから女だからでなく、人間としてよ。」
「結婚したら仕事辞めます。」
- ・私自身は

東京での私立高等学校教員時代 5年間

産休42日間終了後 無認可保育園に預けての職場復帰

金沢での小学校教員時代 20年間

夫の協力・夫の親族からの支援

教育活動・研修・研究等、キャリア形成に邁進した日々

食卓が刻む我が家の歴史

指導主事・管理職時代 13 年間

夫の発病と後悔の日々

看護と職務の遂行

夫婦とは、家族とは

3 定年を迎えて

- ・高齢者の生涯学習に携わって

旺盛な学習意欲

人間模様 いずれ私も通る道

- ・私立大学の教員養成学科の専任教員に

経営と高等教育の狭間で難問山積

研究者ではなく実践者として

教員免許を取得するってこんなに大変なんだ！

4 終わりに

- ・東京学芸大学乙類家庭科 B1008 昭和 41 年 4 月入学・45 年 3 月卒業

なぜ本学だったのか なぜ家庭科だったのか

教師生活 45 年の原点 家庭生活の原点

- ・古くて新しい街「金沢」での出会いに生かされたと私

- ・新幹線開通 おいでまっし金沢へ

【演題要旨】 「古くて新しい街『金沢』に生かされて」

別紙資料参照

44 年度卒の一員として、自分の出来ることをやるという気持ちで、講演を引き受けました。自分を振り返る時間でもあります。今まで、自分の事を話すことはありませんでしたが、皆さんも、ご自分にもそんなことがあったという機会にして頂ければと思います。

私は山形県酒田市で高校まで過ごしました。母親からの影響が強く、大学進学時の母親の言葉が忘れられません。母の事をお話しすると涙が出ます。

大学 4 年間の内、3、4 年生の時、伊東清枝先生の研究室で指導を受け、東京の私立高校への就職も伊東先生からのお話しでした。その学校の採用条件に結婚していること、着物が縫えて指導できるという事がありました。山形県の高校教員の採用試験も通っていましたが、東京の私立高校の条件を満たし、東京で、高校教師としてスタートしました。

東京での 5 年間の生活は、子育て環境が整備されていない中での子育てで大変でしたが、そんなライフワークの中で、親も一緒に育ててもらいました。担任として指導する中に卒業式 1 週間前に退学処分になった生徒が私の進路を変えたと思います。生徒の両親は愛情を持って育てていましたが、子供の反社会的行為の芽を摘むことは出来ませんでした…。私はその時、我が子を育てていて、親の気持ちも理解できましたが、小さい時からの教育が如

何に大切かを強く思いました。このことが切掛けとなり、小学校の教師になって子供を育てたい・・・と小学校の教師を目指しました。

夫の実家のある金沢での小学校教師の生活は大変でしたが、夫、親族の強力な支援は家事や子育て、また教師をしている夫の友人達から個別指導、支援も受けることが出来ました。

昭和50年からの小学校教師の仕事は、「朝と帰りの会」の重要さの認識、国語の授業を充実させるための「石川国語の会」への参加等、ライスワークからライフワークへと広がっていきました。

20年間の小学校教師時代は研修、研究等キャリア形成に邁進した日々であり、休日には家族4人で、スキー等に出かける事が多く、家事の一部を外注に出すなど合理的に考え、「出来る人が、出来る時、出来ることをやる」で乗り切りました。指導主事、管理職として多忙な時、夫の発病を娘の手紙から知った時はショックでした。それからは、学校の仕事、夫の介護をしながら、家族4人が夫の闘病生活を中心に助け合いながらの生活が続き、定年退職した10月に夫は65歳で他界しました。

定年後は北陸学院大学で非常勤から専任教授として、地域の教育に責任を果たせる教員、保育士の育成を目指し、学生の指導にあたる日々です。

金沢での生活も40年近くになります。金沢の人たちは小さい時から、お茶などの習い事を常としてきたようですが、私は、夫が遺してくれた自宅の茶室と茶庭で、40歳のころから、定期的に友人5人で茶席を設け、今に至るまで継続しています。金沢ならではの生活と同時に、心安らぐ充実した時間を持っています。

古いものと新しいものが融合する金沢へぜひおいで下さい。

出会いに感謝して、ありがとうございました。

〈44年度卒実行委員 後記〉

・さゆり会交流会で一番のメインは講演会かと思います。出席してよかった、お話を聞いてよかった、そのような企画が出来たか否か検証しなければと思います。

本年、44年度卒の級友が多数参加したのも、金丸さんの話を聞きたいという気持ちが強かったようです。人生の中で一番変化のあった大学4年間の時間を共有した友の語った事と自らの事がオーバーラップし、心沁みるお話は、それぞれの今後の生活に生かされることと思います。

・聴く側の年齢を考慮された内容であったと思います。個人的なご家族の話は聴く側には親しみを感じながら聞けますが、話し手にとっては辛く大変な事だったと思います。さゆり会という特別な対象だったが故のお話だったと思います。

さゆり会交流会までの計画と反省

①当日まで以下の日程で、打ち合わせの会を持った

- ・平成25年11月29日 43年度卒実行委員との引継ぎ（大学）
- ・1月25日 44年度卒AB類合同のクラス会後、実行委員打ち合わせ 「仕事分担」
- ・3月24日 中橋先生と懇談・会食（立川）
- ・6月 7日 大学事務局、さゆり会役員、実行委員打ち合わせ（大学）
- ・6月 7日 44年度卒実行委員打ち合わせ
- ・8月31日 大学事務局、さゆり会役員、44, 45, 49年度卒実行委員打ち合わせ
- ・8月31日 44年度卒実行委員打ち合わせ（会場、CD デッキ等備品の確認）
- ・10月18日 44年度卒打ち合わせ（講演者 金丸さんも参加）（新宿）
- ・10月31日 前日準備（さゆり会副会長・44, 45, 49年度卒実行委員）

②講演会について

- ・講演者 金丸さんは44年度卒の一人として、実行委員の一人として講演という役割分担をやるという位置づけで講演を引き受けて下さった。
交流会を企画するに当たり、本当に大きな助けでした。金沢在住にも拘わらず、事前の打ち合わせにも参加され、経済的負担が大きいものだったと思います。また、当初、さゆり会日程、11月2日（日）で講演依頼を承諾して頂いたが、日程が一日ずれ、土曜日になってしまい、大学の授業、仕事等の調整をして頂き、本当に感謝の一言です。
- ・講演内容については、聴く側が60歳以上という事を考慮され、聴く側が自身の事とオーバーラップし、これからの事を考える上で感動的に受け止めることが出来るお話をして頂いた。一貫して流れている「出来る人が、出来る時、やる」という実践のお話しは、聴く側も今後の生活に生かそうという気持ちを持ったことと思います。

③懇親会 懇談・「お楽しみ会」

- ・昨年度の反省をいかし、本年度の懇親会は「同窓生が語り合える懇親会を・」を目指し、昼食と懇親を中心に120分を企画しました。一人3分でアポイントメントを取らず、20人を指名する予定でしたが、ご挨拶、乾杯等に予定以上の時間がかかり、12人のお話ししか聞くことが出来ませんでした。興味深いお話もお聞きできましたが、もっと沢山の方達からお話が聞ける懇親会を企画するには条件整備が必要かと思います。
- ・「お楽しみ会」については、事前にいろいろ準備して臨みましたが、20分内に終わらせるため急いってしまったと反省しています。品物を手渡ししながら、作った方、手渡される方の関連情報を、プライバシーを配慮しながらお話しする予定でしたが、話を入れる時間が無く残念でした。会終了後、多数の方から実行委員に「お楽しみ会」のお礼があり、楽しい時間が共有できたと思いました。

④参加申し込みについて

- ・申し込み用紙に旧姓記入欄が無く、ご迷惑をお掛けしました。記入欄を入れて下さい。
- ・FAX送信の際、送信者が受信確認を必ずしていただくよう明記する必要あり
- ・申し込みの際し、会員より要望、変更等通信欄に記入されていたので、次年度の通知

郵送、名簿作成時に反映して頂きたい。(別紙参照)

⑤前日準備について

- ・副会長、44, 45, 49年度卒実行委員16名が集まり、準備を行った。
- ・清掃用具使用については、清掃会社と大学、現場の清掃員と清掃会社、清掃員と大学等の間でのコンセンサスがうまくできていなかった結果、反省、改善すべき事項が多々あったと思いました。実行委員が清掃用具持参で掃除するのは無理ですので、次年度、今回のような混乱が無いことを願います。今回、実行委員がご持参頂いた雑巾は1階清掃用具ロッカーに寄付させて頂きました。
- ・天気が雨予想でしたので、玄関に傘立てとポリバケツを用意しましたが、小雨程度で、雨による混乱はありませんでした。
- ・表示等、昨年の表示を参考に前日に掲示し、特に3号棟外の「さゆり会」の表示は好評でした。

⑥実行委員の仕事

- ・本年は、実行委員の会合を出来るだけ少なくする方針で臨みました。顔が見える会合は、大学で行われる幹事会等の後に設定し、後はメール、電話等で連絡し、情報を共有しながら進めていきました。

⑦案内状の発送

- ・鳴海先生のご尽力で9月19日に発送作業に入り、9月21日付で発送して頂いた。

平成26年度 さゆり会交流会 会計報告

2014・11・20

(収入の部)		(支出の部)	
2000円×54人分	108000円	弁当代 1020円×55	56100円
500円×1人分	500円	お茶代	5442円
さゆり会より	20000円	お菓子代	15552円
		講演者交通費補助	20000円
		会場費(花、テーブルマット、紙コップ等)	5702円
		名札補充・ポリ袋等	864円
		文房具・乾電池等	480円
		お楽しみ会制作費 300円×55人分	16500円
		会議費(顔合わせ・準備打ち合わせ)	12810円
		雑費(31日菓子代)	1636円
合計 128500円		合計 135086円	

不足分【6586円】はさゆり会会計より支出して頂きました。

備考

〈弁当代〉

弁当は「ごはん家 さくら木」に依頼 東村山市本町4-12-44

TEL 042-395-2122 携帯 090-79418435

FAX 042-393-3638

- ① 今年度のさゆり会は小金井祭の前日だったので、北門より3号館前まで運んで頂いた
- ② 献立は年配の女性にふさわしいメニューを要望（魚、果物等要望があれば依頼可）
- ③ 割りばし、ミニフォーク、おしぼり等予備として多めに頂いた
- ④ 消費税が8%になったため今年は税込1020円をお願いした（6月に電話で確認）
値段については、提示された金額で内容を考えるというのが「さくら木」の方針

〈お茶代・菓子代〉

- ・お茶は生協のケース買い 1本300ml 75.6円、1ケース24本入を3ケース〈72本〉買い、懇親会に55本使用し、残り17本は前日準備、当日の実行委員会用お茶として使用した。
- ・菓子代は55名の参加だったので、例年通り、量は少なくとも美味しいものを取り揃えてみました。

〈講演者交通費 補助〉

講演者が金沢在住、現職で勤務があったため、今回は往復飛行機〈小松-羽田〉、立川のホテル泊と講師ご自身の出費が多かったため、少しでも、補助がしたいということで、2万円をお渡ししました。

〈お楽しみ会〉

参加者全員にアトランダムに手作り品を渡すということで、中橋先生と44年度卒計5名で手作り品を作り、持ち寄った。材料費として1点300円で、あたりはずれがあったかもしれないが、参加者全員で20分間楽しく過ごすことが出来たと思える。

〈会議費〉

会議費として計上した以外、何回も大学で会を持ち、電話等で連絡し合うなど、実行委員は交通費、電話代、資料コピー代、お茶菓子の差し入れ、車の使用料等、相当の個人負担があったが、皆さん気持ちよく協力して下さったことを記しておきます。